

平成16年

No.233

波紋



2004 11月

PUBUSHER: 森松株式会社 EDITOR: 梅田文康

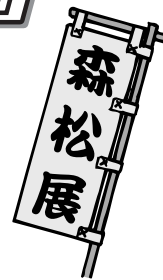
第12回「元気が出る森松展」

10月14日(木)~10月16日(土)の3日間、「第12回元気が出る森松展」を開催させていただきました。今回のテーマは、「環境系未来プラスチック」~情報をハッスル!ハッスル!~でした。出展社数38社(新規出展社数6社)のメーカー様のご協力により、盛大に開催することが出来ました。本当に有難うございました。

メーカー様のご協力により、5階展示場は常設とさせていただきます。お近くにお立ち寄りの際には、ぜひお気軽にお越しください。

今後も、「森松マン」は情報を発信し続けますので、宜しくお願いいたします。森松のビッグイベントとなりました「元気が出る森松展」。来年もご期待ください。今年も、多数の方がご来場頂きました。本当に有難うございました。

森松展実行委員長: 伊東 郁二



| | | | | | | | | | | | |
|---------|-------------------------------|---------------------------------|------------------|--------|------------|---------|----------------------------|--------------|---------------------|--------------------------------|---------------------|
| 27日(土) | 25日(木) | 24日(水) | 23日(火) | 20日(土) | 15日(月) | 13日(土) | 10日(水) | 8日(月) | 6日(土) | 3日(水) | 2004年 11月 の予定 |
| 第四土曜日休み | 稲葉 友昭さん誕生日 編集会議 17時30分~18時 | 営業会議 15時10分~17時 生産会議 18時~19時 | 経営会議 7時30分~8時20分 | 改善発表会 | 岩間 正美さん誕生日 | 第二土曜日休み | 永年勤続優良従業員表彰式典 中部ビル卸協同組合 | 誕生日会 12時~13時 | 第一土曜日休み 呉 亭さん誕生日 | 文化の日 梅田 文康さん誕生日 呉 亭さん誕生日 | |

おらが國の街自慢



三浦雅幸 (ニーズ)



関東営業所であり私の住んでいる茨城県守谷市は、2002年2月2日市制施行に伴い茨城県内22番目の市として誕生しました。

県の南西部に位置し水戸市から約60km、都心からは約40kmに位置しております。市域の大半が常総台地に属し、海拔平均20mの平坦な大地が広がっております。北東に小貝川、西に鬼怒川、南に利根川が流れ、宅地開発が進んでいるが、幹線道路を離れば、森林も多く自然あふれる土地であります。

市内各所からは、縄文時代・弥生時代の土器が出土している為、古くから人の集まる場所であったことが推測され、また平安時代には、下総相馬氏が守谷城を築城し(現在は守谷城跡があります)城下町として栄えていたそうです。

方言では、高齢者や古くからの集落などでは茨城弁(語尾に「だっぺ」尻上がり調子で怒ったように聞こえるのが特徴ですがこれは北部での方言で、私の住んでいる南部では「だへ」を用いるなど、北部とはやや異なる特徴を持っています)が残っております。しかし最近では、他地域からの人口流入が激しくなり、茨城弁の使用頻度は減少しておりますが、まだ近所の方でも語尾を上げる独特のイントネーションは時折聞くことがあります。

先に宅地開発、人口流入と上げましたが現在2005年秋の開業を目指し急ピッチで首都圏新都市鉄道が、東京都千代田区の秋葉原駅と茨城県つくば市のつくば駅を結ぶ全長58.3kmの鉄道路線つくばエクスプレスを建設中です、この路線の中心駅となる車両基地を所在する駅が守谷駅である事、またこれが完成した時には今まで守谷駅から秋葉原駅まで行くのに1時間以上掛かった時間が35分に短縮され将来を見越しての人口流入が大きな理由と考えられます。

こんな街ですが近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。御案内いたします。



「森松展ご来場有難う御座います」

社長 森 直樹



第12回森松展が開催されました。今回は「環境系未来プラスチック」情報ハッスル!ハッスル!をテーマに行い、皆様には森松の商材群から、今後の新たな商売のネタとなるものを発見していただいた事を始めとして、これをきっかけに新たなお付き合いが出来た方もいたことと思っております。

展示会を社内で行うという事は、裏方の実行委員長の苦労は大変なものが有ります。出展企業様への案内、景品記念品の選定・調達、また懇親会の進行と、小規模の展示会といえどもこれほどの行程があるのかと驚くほど。また同時に、社内外とのやり取りも苦労の一つです。

勿論これらの経験はひとつの製品を資材購入から加工手配、出荷まで貫いて調整する弊社の仕事に通じるものがあります。常に先を読み、相手の立場になって考える、気配りの出来る人間はこのような経験や途上での失敗を通じて造られるのでしょうか。私自身実行委員長は未経験ですが、会社を経営するという立場においては日常的に実行委員長であると言えます。決めたいことを実行に移し、完遂するということは、単独個人ならまだしも、複数の人が関わると、気配り次第で倍以上に楽になることもあれば、逆に数倍苦労するというところもあるわけです。

しかしながらこの12回を終えた森松展、何時までも同じ形式で開催しては森松の持ち味である部分、「先進性」「独自性」が薄れていくことは否めません。今後とも、去年よりは今年、今年よりは来年と、「毎年来なければいけない行けない」展示会を生み出すことの出来る、そんな会社を目指して頑張ります。今回も皆様のご来場有難う御座いました。

naoki@morimatsu.net

編集後記

秋の風が吹き始め、特に朝晩は空気が冷たさを感じるようになりまして。しかし、まだまだ日中は暑い日があります。このようなアンバランスな気候のなかで森松展は開催されたわけですが、そういえば昨年の森松展でも、緑の社用ジャンパーの下で汗をかいていたことが思い出されました。一年はあっという間に過ぎるものだなあ、とまだ年末でもないのに、しみじみ思っています。

今年の森松展では、実行委員のひとりとして働かせていただきました。社内・外に連絡をしたり、日程を決めたり、打ち合わせをしたり、という仕事は、学生時代を思い出させます。もちろん、学生時代の遊び半分イベントと会社の展示会では根本が違いますが、仕事の内容や実行委員としての気分の高揚感も共通しているのでは、と感じました。

私はケアレスミスが多く、先輩方に助けられてばかりでしたが、とても充実した経験になりました。こんな言い方はおこがましいかもしれませんが、楽しんでおこなうことができたと感じます。ほっと一息ついている、今日この頃です。

飯田奈都子 (ニーズ)



『北京・天津訪問』

森 信之



10/8日~12日 中国出張、北京・天津を訪問しました。名古屋から北京まで3時間、上海より40分ほど時間がかかる新しい飛行場だが、入国時の段取りの悪さにはウンザリ。バスで北京中心部まで高速道路で40分間、スモッグがひどく、当然車中からの眺めはボヤけて、ただただグレー色の景色です。気管支・呼吸系の弱い人は北京に任せません。北京市の周りには山がある。昔は北京の「秋の夕暮れ」時は最高の景色ですよと10年前に中国人に聞きましたが、ときすでに遅かった。残念です。

翌日、私の友人は天津から迎えに来る人が濃霧渋滞(実際は半分スモッグが混ざっている)で3時間待たされたと言っていました。その時、嫌な予感が頭をよぎった。私は明日、天津開発区へ行く予定だが、大丈夫かな…?

翌朝、ドンヨリした天気だ。これはヤバイ、8時30分にホテルを出発して高速道路入り口へ、すでに料金所手前から渋滞の列は始まっていた。この先どうなるのでしょうか？私が心配しても、どうしようもないですが、運転手の楊さんは慣れている様子で慌てないし、張社長の落ち着いている感じから、いつもの事なのだと思える安心をしました。反対車線からの車両が来なくなつたのを確認して、次のインターで降りて北京へ戻ろうと決めた時、反対車線に車が走ってきたので、急遽予定どおり天津へ車を動かし始めた。

結局、13時過ぎに天津に着きました。4時間30分かかった、翌日は1時間30分くらいで北京に帰ることが出来た。私の原因ではないけど商談相手を長時間待たせたり、ホテルの予約などいろいろ問題が発生します、トテモ私の神経的にも、環境的にも、北京で商売できないと感じた出張でした。高速道路会社がラジオで渋滞情報を流してくれば助かるのになぜ、なぜ、なぜ。中国は解からん事が多すぎる国だ。

2008年のオリンピック運営が心配です。私は開会式の招待券をプレゼントされても行きません。腹が立つだけだから。

『記憶力低下』

黒松康郎 (クイックファイブ)



40歳になった最近本当に記憶力が低下したなと感じています。

携帯電話の留守番電話が7件なんて入っている。昔は難なく7件とも覚えていたのですが、最近「あれ、あと2件は誰からの電話だったかな」と考える時があります。ひどいのは、先日車を運転して「どこに向かっているのだろう」と考えた事がありました。(これは少し未期的かもしれませんが)原因は年齢かなと思いましたが、それだけでなく何でも便利になりすぎているので脳を使わなくて済んでいるのも原因の一つだと思います。

例えば携帯電話、昔は電話番号を手帳に書き写し、それを見て会社や家もしくは公衆電話でかけていたのですが、最近は携帯電話に登録していれば番号なんてまったく考えないで相手の名前だけで電話ができる、着信があればそのまま発信を押せばすぐに相手にかかるのだから楽ですね。

昔は電話番号をたくさん覚えていたものです。下手したらFAX番号まで多く記憶していました。これは数字をそのたびに押していたから記憶していたのだなと思います。ダイヤルボタンを押すことを今後でもできるだけ習慣にするように心がけて脳の老化防止に役立ててみようかなと最近考えています。

この前こんな記事を読みました。「利き手と反対の手で電話番号やメールをうつてみましょう。」右脳と左脳を、バランスよく働かすことで脳の老化に役立つらしいです。

本当は自分の勘違いで元々生まれつき「記憶力が悪い」のを「脳の老化」を原因にしているだけかもしれないが…。

『お値打な休日』

安井浩二 (クイックファイブ)



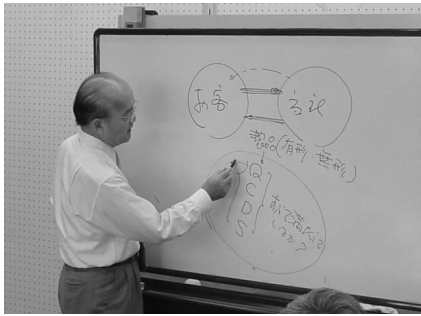
10月の三連休、台風過の中。小学4年生の息子が、いつものごとく「どっか、連れて行って」とせがむ。行楽シーズン、観光地、アミューズメントパークなどは、人でごった返しているし、お金をかけずに、人が少なく遊べる場所は、どこかないものか？と思い、ネットで検索。あれこれと検索していると「工場見学」という文字が飛び込んできました。色々調べて見ると、食品工場などは、お土産がもらえたり試食ができる…。

「これだ！」数ある工場の中から、キンピル名古屋工場を選択。HPを見てみると休日は、15時より「ピアパークツアー」というものがありました。これは、工場が休みの為、普段ご覧いただけない工場の敷地内をバスの案内してくれる。という内容。先着順というところもあり、事前に電話でツアーの予約をして、いざ現地へ。簡単な手続きを済ませ、バスツアーへ参加。ナゴヤドーム約5.5個分といわれる敷地内をテラスコート30分以上も入る大きな製品倉庫や高さ20メートルの発酵・貯蔵タンクを間近で見ることができ、工場の広さ、設備の大きさを体験することができました。次いで、約30分、ガイドの工場内のビール生産工程を見学。原料となる、大麦やホップ(種花)を手にとることができたり、発酵する前の麦汁を飲ませてもらったり…。また、キンピルの歴史や瓶のリサイクルなども教えてくれました。(残念ながら、瓶詰めなどの製造ラインは休日の為、ビネオ鑑賞になります。)見学後は、念願の試飲。工場直送の「番紋」(他には、ラガー、淡麗もあり)をグレイ(さんざん)さん焦らされた後の飲んだビールは美味い。子供達はジュースで乾杯。他には、「ビール・発泡酒の銘柄当てクイズ」などクイズに答えて粗品をもらったり、売店では工場限定のお菓子やグッズもあり、色々楽しむことができました。お金をかけずに、貴重な体験ができて、更に無料で飲食ができて、お土産をもらって…。家族は大満足の、ちよとしたお得な休日の過ごし方でした。我が家では「今度、どの工場見学へ行く？」とこの無料体験にちよとハッテおります。

『困ったことだな〜』研修会

社内改善の一環として、コーディネーターを加藤技術顧問にお願いし『困ったことだな〜』研修会を開催しています。社内で困った事など、社員各々より提出してもらい、3グループに分け、1グループずつ個人の困った事をディスカッションし問題解決をしています。6月から開始し各グループ一巡を致しました。

社内的に社員が困った事を会社に問題提起し解決する、この研修会末永く続けて行けば必ず良い方向に社内改善が進み良い会社作りができると思います。社内の困った事をどんどん解決していきましょう!



森下友博 (Σ-208)

『糖尿病と付き合って』

大橋康成 (GMエキスパート)



糖尿病と診断され5年経ちました。糖尿病という病気は、血液中のブドウ糖の量が多くなりすぎ、次第に血管などに影響を及ぼし、目や腎臓、神経など全身に障害を起こす病気です。原因は、膵臓で作られるインスリンというホルモンが不足したり働きが不十分になるからです。インスリンは、血糖を正常に保つ働きをしており、食事によつて取り込まれた糖質、たんぱく質、脂肪などの栄養が体で上手く利用される為の大切なものです。インスリンが不足したり働きが不十分になると調節が上手くいかず、ブドウ糖をエネルギーとして使ったり肝臓や筋肉に蓄えたりする事が出来なくなり血液中にたくさんブドウ糖がとどこおるようになります。

糖尿病になったからといって、食べてはいけないという食品はありません。健康な人と同じように何でも食べられます。ただし食べる量は日常生活に必要な最小限に制限されます。僕の場合は一日1800kcalです。運動は毎晩三十分以上歩いています。

